



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2023年6月会報 第414号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Ulik Lauridsen (デンマーク)

主 題 「輝かそう、あなたの光を」 'Let your Light Shine'

スローガン 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation

アジア太平洋地域会長(AP) Shen Chi-Ming (台湾)

主 題 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Elegantly Change with New Era

スローガン 「今すぐ実行を」 Doing It Right Now

西日本区理事(RD) 田上正(熊本むさし)

主 題 「原点を知り将来に生かす」 Know the origin and utilize it in the future!

スローガン 「立ち上がれワイズモットーと共に！」 Stand up Y's Men with our Motto!

六甲部長 若林成幸(宝塚)

主 題 困難な時にこそYMCAと共に進もう

宝塚クラブ会長 小林康男

主 題 みんなでつなごう心の輪 笑顔で健康 笑顔で幸福

今月のテーマ 評価と引継ぎ

この1年間当初の目標にしていた活動ができましたか? できたクラブはさらに発展させましょう。できなかったクラブはどこに原因があり、何を改善すれば良いかを話し合いましょう。クラブの反省会や研修会、引継ぎ会はクラブはメンバーを成長にもたらしめます。

理事 田上 正(熊本むさし)

2022年6月例会(ハイブリッド)

日 時 : 2023年6月14(水) 18時30分

場 所 : 宝塚市西公民館

会 費 : 1500円

司 会 若林成幸 武田寿子

開会点鐘 小林康男会長

ワイズソング 全員

聖書朗読・祈祷 武田寿子

ゲスト・ビジター紹介 会 長

来賓・ゲスト紹介 司 会

会 食

総 会(年間総括)

各委員会報告

2022~23年活動報告

各委員会報告

YMCA報告

誕生日のお祝い 会 長

ニコニコファンド

閉会点鐘 小林康男会長

2022~2023 役員	会長	小林康男
	副会長	郡家 学
5 月 実 績	書記	福田宏子
	会計	郡家 学
	会計監査	吉田 明 加藤光信
	担当主事	橋本 唯
	メネット連絡	小林貴美子
	直前会長	福田宏子
	6月 誕生日	長尾ひろみ(1) 若林成幸(3) 青柳美知子(5) 矢部美紗(16) 小林貴美子(17) 丸茂 幸(19) 郡家敏子(25)
5 月 実 績	例会出席者数	63名(ズーム0名)
	在籍会員数	20名
5 月 実 績	出席会員数	13名(ズーム0名)
	出席率	65%
5 月 実 績	メイクアップ(内数)	0名
	メネット・コメント・孫メット	2名(ズーム0名)
5 月 実 績	ゲスト・ビジター	45名(ズーム0名)
	例会充足率	225%
5 月 実 績	アソシエイト会員	3名(ズーム名)
	ここにBOX	0円
5 月 実 績	累 計	52,510円
	ファンド(豚 肉,他)	円
5 月 実 績	累 計	17,880円
	(真菰茶)	0円
5 月 実 績	累 計	108,300円
	ファンド合計	178,690円

聖句

「静かにささやく声が聞こえた」

旧約聖書・列王記上 19 章 12 節

随想

カルメル山上で、バアルの神が本物かエリヤが信じる天地を創造された神が本物か、エリヤはバアルの預言者らと戦うことになり、天から火をもって答えた神をまことの神として崇めるといふ戦いをしました。その結果、天から火をもって答えたのがエリヤの信じるイスラエルの神でした。このことを示したエリヤは、自分の国から連れてきたバアルの預言者ごとごとく殺されて恨みをもった王妃イゼベルにより「エリヤ殺害命令」を出され、全国各地をひたすら逃げました。そしてホレブに着き、山の中で神の前に立ちました。

その時、彼の前に山を裂き、岩を砕くほどの強烈な風が吹いて来ました。しかし、風の中に神はおられません。大地震が起こりました。しかし、そこにもおられません。次に火が起こりました。火とは、先ほど、カルメル山上でバアルの預言者らと戦った時に神の存在を明らかにしたあの火でした。火でもってご自分を明らかにした神はきっと、この火でご自身を示されるに違いないと確信したエリヤでしたが、火の中にも神はおられません。

その直後のことでした。「静かにささやく声」が聞こえました。耳をそばだてて聞かないと聞き消されてしまう弱々しい声でした。そこに神がおられました。

現代は大きな声を出す者が力ある者となり、権力を握ります。その大きな声に、神の声は聞き消されそうです。こちらが注意を集中して耳をそばだてて聞こうとしなければ、決して聞き取ることができない神の声です。

あちこちで力と力が対立し、対話の分断が起こり、分かっている自分にも利を得るために、わざと素直に聞こうとしない関係が、更に人間同士の分断を促しています。

今、静かに聞こうとするこちら側の姿勢が求められているのではないのでしょうか。

神の声は、エリヤの時代から二千数百年経った今も、「静かにささやく声」です。

今、本当に聞くべき声は何でしょう。そして、その声を聞き逃してはなりません。

浦上結慈

35周年記念例会報告

第一部 35周年記念事業「子どもたちの平和な未来を考える」

朝 7 時過ぎに I PRAY の総合プロデューサー木原世宥子さんから「無事に山陽道を通って向かっています。9 時 30 分ごろには着きます」との LINE が入り、今日の記念イベントの昼の部が始まった。9 時 30 分に無事到着。元気な明るいメンバー達の楽屋入り、そして彼らはすぐに機敏に動きながらリハーサルが始まった。ワイズのメンバーで開会に向けての準備も始まる。



10 時過ぎにはソリオホールの入り口の壁面にコムの実業所の絵画教室の方々の絵画とほんしん自立の家入居者の有志による臨床美術の展示をして入り口に彩りが加わり、華やかになる。

午後 1 時過ぎには一部に講演をしてくださる弓狩匡純さんの楽屋入り。

そして一時過ぎから次々と観客の入場。

開演 10 分前に開始予鈴のベルと共に石田ワイズの司会で開会へと。実行委員長の若林ワイズの挨拶。続いて I PRAY のメンバーによるオープニングダンスで開始。

2 時過ぎからの 40 分まで弓狩匡純さんによる「過去に学び、未来を描く」がパワーポイントを使って講演が終わり、山崎晴恵宝塚市長のお祝いメッセージを受けた。その後 10 分の休憩の



後、I PRAY のメンバーによる平和創作ミュージカル「I PRAY」が始まった。4 歳から中高生のメンバー 17 人がミュージカルを通して平和のメッセージがホール一杯に届いた。最後はワイズ関係者も壇上に上がり、全員で「いのちの歌」を大合唱。総合プロデューサーの木原世宥子さんからの挨拶があり、会場から大喝采が鳴り止まなかつた。I PRAY の子供達はホールで来客者に笑顔でお見送り、同時に弓狩匡純さんのサイン入りの本の販売会もあり、興奮鳴り止まない内に昼の部の閉会となった。



ドライバー 多胡葉子

第二部 35周年記念例会・祝賀会

5月例会は通常第二水曜を行いますが、今年は35周年記念例会となり、第一部記念事業を行いまして、その後近くの「がんこ宝塚苑」で行いました。第一部から沢山残って頂いたお陰で63名、部屋が二つになり、参加者には迷惑をかけました。16時30分、小林康男会長の点鐘、ワイズソング、祈祷と続き、日帰りで来てくれました宝塚クラブとDBCである鹿児島クラブの中堀清哲ワイズの挨拶と松永英明会長の乾盃で会食に入りました。時間の制限があり、短い時間ですが、会食後インタビュー形式で懇親会を行いました。35周年になりますが今もチャーターメンバーが4人います。一番年配である加藤光信ワイズに一言お話をして頂きました。そして二、三の方からスピーチを頂き、その後に誕生日のお祝い、アピールタイムを行いました。そして田上正理事の代理



(小林会長開会点鐘)

で出席して頂いた上村眞智子書記から熊本西日本区大会のアピールがありました。

閉会は、次期会長石田由美子ワイズの感謝の挨拶、小林康男会長の閉会点鐘で無事35周年記念例会を終える事が出来ました。

ドライバー 長尾 亘



(熊本西日本区大会アピール)



(誕生日祝い)



(石田由美子次期会長)

G7 広島サミットの厳戒態勢のなか、広島から無事に宝塚に来られるのか、多数の観客が来てくれるのだろうか、ご多忙の宝塚市長の時間は大丈夫だろうか。35周年記念事業が始まるまで心配することばかりでしたが、いざ当日になると、全て杞憂に終わりました。

当日は、予定より早く広島を出発した子どもたちが皆無事に元気に到着し、早速力の入ったりハーサルが始まりました。私たちも開場の準備に忙しくなり、気がつけば、会場時間前から来場者があり、いつの間にか会場はほぼ満席状態に。山崎晴恵宝塚市長も予定より早く到着し、第1部の講演から熱心にお聞きになりました。その後、山崎市長より心を打つ素晴らしいメッセージをいただきました。

最後に舞台にあがり、みんなで「いのちの歌」を歌ったとき、今日この時間を迎えることができ、本当に良かったなと思いました。皆様、本当にありがとうございました。

会長 小林康男

5月第2例会報告

日 時:2023 年5月 17日(水)13:00~ 第 2 例会終了後、引き続き35周年記念事業準備
場 所:宝塚西公民館
出席者:青柳、石田、郡家、小林、武田、多胡、長尾、福田h、若林、若林h、矢部

議 題

1. 例会の運営

1. 35周年記念例会 5月 21日(日) ソリオホール 14:00~
記念事業の準備作業
2. 6月例会 6月 14日(水)18:30~ 西公民館 「1年間の振り返り」各担当者はまとめを
6月4日までに提出すること
3. 7月例会 7月 12日(水)18:30~ 西公民館 「キックオフ例会」

2. 各事業報告

1. 西日本区・六甲部:
 - ・西日本区大会 6月 10日(土)・11日(日) 熊本市参加者 8名 登録内容確認のこと
2. 地域奉仕・環境
 - ・宝塚国際交流協会 NGO 展 12月2日(土)・3日(日)予定 展示 10月~来年3月
 - ・西谷 綿種まき 5月末までに日程を決定すること

3. ブリテン(長尾):

原稿は長尾の編集がしやすいように「明朝体 文字 P12で作成し、写真も一緒に入れて作成する」

4. YMCA 報告(橋本):

- ・チャリティーラン実行委員会 委員募集 宝塚クラブは Y サ・ユース担当者が担当する
- ・ホストファミリー募集

5. その他

病気等で長期に例会に参加できないメンについて、今後の活動について、意向を確認する。
(退会する。アソシエイト会員となる。退会はしないが出席義務を免除する。その他)
対象者:今田和子、堀江裕一、吉田明

35 周年記念事業報告

《平和への思いを訴える》

『ミュージカルと講演で平和の大切さを訴えるイベント「子どもたちの平和な未来を考える」が 5 月 21 日、宝塚のソリオホールで行われる。青少年健全育成を目指し、YMCA の活動を支援する「宝塚ワイズメンズクラブ」の創立 35 周年記念事業。第 1 部で、被爆体験を継承する高校生らを紹介するノンフィクション「平和のバトン」などの著書があるジャーナリスト、弓狩匡純さん(宝塚市出身)が「過去に学び、未来を描く」と題して講演する。第 2 部では、被爆二世の木原世宥子さん作・演出の平和創造劇・ミュージカル「I PRAY」を上演。原爆が投下された広島 of 惨状と復興の歩みがテーマで、広島の子どもたちを中心としたグループが演じており、国内外で評判が高い。』



これは 5/17 読売新聞に掲載された広報記事のコピーです。当日は好天に恵まれお客様の出足は順調で、定員 300 人のホールに、大人 179 名(内訳:ワイズ約 50 名・一般約 130 名)、高校生以下の子ども 55 人に来賓 10 名と宝塚クラブ関係者 30 名を含め合計 274 名が会場を埋めました。出演は講師 1 名、IPRAY 出演の子ども 17 名と関係者 7 名でした。

イベント終了後の嬉しい反響から会場の様子をイメージして下さい。

○小学校の女子生徒:『ダンスを習ってるのでミュージカルに興味があつて～講演の時はゴソゴソしてたんだ

けどね、劇になると静かに観てました。一瞬で全てが変わってしまうのが戦争なんだね。怖かった。最後の

場面で小さい子達が一生懸命踊ってたのにはニコニコして観てましたよーありがとう!』

○宝塚の被爆者:『感動の涙涙でした。男性のお客が多いのにびっくり。高齢者が多い被爆者の会は解散したけれど、個人的にはまだまだがんばるので、また逢いましょうね。』

○80 代男性:『大成功、おめでとう! 講演もよかったし、I Pray には、感動! 意義ある記念企画だったね!』

○ワイズ仲間:『宝塚ワイズ 35 周年おめでとうございます。講演から原爆を再認識しました。講師の先生本で勉強します。平和の祈りのミュージカル、子供たちのすはらしさに涙でした。ありがとうございます、感謝です。』

○IPRAY 理事長・福山クラブ会長 上久保ワイズ:『昨日は大変意義深い 1 日を過ごし、皆さんと共に感動の時を共有させていただき、忘れられない思い出となりました。この思い出、出来事、実践の足跡は素晴らし



く、点に終わらせず線として伸ばし繋ぎ、立体に形づくられるようにもっていきたいですね。ワイズはいいですね。再会や出会い、交流の機会をつくってくれます。IPRAY 理事長として福山クラブ会長として、心から感謝申し上げます。』

○IPRAY 作・演出者 木原ワイズ:『この度は去年広島(西中国部部会)で子供達のダンスを見ていただいたのがご縁で、宝塚ワイズの 35 周年記念のこのような大きなステージに呼んでいただき心よりお礼を申し上げます。お弁当だけでなく子供達にお菓子やボールペンまでいただきみんな喜んでおります。帰りはほんのしばらく静かでしたがステージの興奮が冷めず歌ったりお話ししたりでした。月曜日 子供たちは元気に早く起きて学校に行ったそうです。広島 G7 の時に IPRAY の公演ができとっても意義あることと思います。大変なところいろいろ心配りありがとうございました。裏方の手伝いの保護者やアシスタントもなんと温かい方達でしょうと申しておりました。いつもだと私はバタバタイライラキリですが、皆様の暖かさの中こちよく本番を終えることができました。感謝申し上げます。またお会いできる日を楽しみにしております。』

宝塚クラブにとって、このようなテーマを掲げるイベントは初めての取組となりました。出演者と同世代の子どもたちを沢山招き見てもらいたい、私たちと同じような社会活動をしている団体・グループとも共有したいなど、背伸びをした企画でしたが、あちこちに未熟さを感じました。ワイズメンズクラブ西日本区スタッフのご理解・ご支援をいただき、背中を推されたように思いました。ありがとうございました。

35周年記念事業準備委員長 若林成幸

《MC から》

開演前にモニターを見ると座席がどんどん埋まって行く。ホント？まさか、満席？と疑いながら時間になり MC マイクの前に立つと空席がほとんど残っていない状態でした。

武田寿子ワイズとの不思議なご縁でお迎えしたジャーナリストの弓狩匡純さんの著書、「平和のバトン」を基に高齢の被爆者と高校生の出会い、そこから生まれた原爆投下以降の想像を絶する被爆者体験を見事に絵にして思いを継いだ若者との交流、私にとっては強烈なショックでした。

MC を担当するにあたって事前にこの本を読み頭の引き出しに入れましたが、やはりご本人から直接のお話はインパクトが強かったです。

このパートの最後に山崎晴恵宝塚市長からのこのイベント内容に沿った素晴らしいメッセージがあり厚みをつけて頂いた感じがします。

「I PRAY」(子供たちの祈り)は広島 YMCA と福山クラブ、木原世宥子ワイズの協力で初めて宝塚で上演する事になり、宝塚クラブにとっても大きなチャレンジでした。



友人の小学生のお孫ちゃんは、「一瞬で全てが変わってしまうんだね。怖いね。」と感想を言ってくれました。もっと若者に来て欲しかったです。

最後の「いのちの歌」はコーラスや学校でよく歌われる曲です。私も何度かフラで踊った事があります。木原ワイズに断って手だけで踊りました。

会場の大拍手の中でステージの高校生が泣くのを我慢しているのを見て涙で原稿が見えなくなりました。

当初、広島平和サミットで上演の話もあったそうですが国と市の調整が出来ず残念でなりません。何よりも首脳たちに観て欲しかった・・・

石田 由美子

《受付から》

宝塚ワイズメンズクラブ 35 周年記念にお招きした弓狩匡純氏のわかりやすく説得力のあるお話と「I PRAY」の躍動感あふれた創作劇は、平和の大切さを改めてわたくしたちにおしえてくれました。受付と来賓対応をしていましたが、心配していた観客動員もタイミングよく G,セブン開催が広島であり、核廃絶への関心も高まっており予想以上の入場者がありほっとしました。

また山崎晴恵宝塚市長は熱心に講演をお聞きになり、ご挨拶も素晴らしく記念講演を盛り上げてくださいました。また講演者の弓狩氏は 35 周年記念祝会にも参加してくださり、ワイズメンズクラブのパワーに驚嘆し、子供のころ神戸 YMCA 余島キャンプに家族で何度か参加したことを懐かしく思い起こされておりました。

弓狩氏は被ばく 80 年 2025 年に次世代と描く原爆の絵と題して川崎市、岡本太郎美術館で原画展と計画しているということで、ぜひ実現できるよう応援したいものです。

武田 寿子

《平和創造劇・ミュージカル「I PRAY」 原爆が投下された広島の惨状と復興の歩み》



皆と楽しく遊んでいました。



「ピカ」空を見上げると、



熱い風が……………一瞬に街が



家族を探す子供たち

平和創造劇・ミュージカル「I PRAY」



最後に客席からもステージに上がって「いのちの歌」を♪



目立たない所の活躍

案内



受付



ロビー



35周年記念例会祝賀会



他クラブ訪問

大阪センテニアルクラブ創立 40 周年音楽祭記念例会報告

2023 年 5 月 20 日(土)、12 時から大阪・梅田のライブハウス「Always」で個性的な記念例会がありました。プロ並みのカントリーミュージシャンである芝田光雄会長を中心に、京都部から京都 ZERO クラブ・佐古田正美バンド、阪和部から大阪サウスクラブ・恵美奈博光バンド、京都部・中西部・六甲部からフラグループ、フラ・オハナ・コモハナの 5 人が出演。勿論大阪センテニアルクラブのメンバーによるハウスバンドも大活躍。

最大のハイライトは 50 年以上の歴史がある Backwoods Mountaineers の圧巻の演奏でした。芝田会長の 5 弦バンジョー、藤井孝三ワイズのフィドル、フラットマンドリンは大迫力で会場はすっかりアメリカ南部の草原に転換しました。

このクラブは長年音楽と英語に関わる活動をされて来て、ワイズソングも 1 番は英語、この日も香港やホノルルの IBC をオンラインで繋いでの国際的な例会になりました。

クラブの個性を大切にそのクラブらしい記念例会が大いにありだと思いました。

翌日は宝塚クラブの 35 周年、私たちの記念事業もこの日の様に多くの人に喜んで欲しいと願いながら「又、明日！」とお別れしました。



石田 由美子



【YMCA ニュース】

2023年度神戸 YMCA 大会(総会)を下記のとおり開催いたします。
神戸 YMCA 大会は、神戸 YMCA に関わる人たちが一堂に会する日として、世代を超え、神戸 YMCA の歩みを確かめ、将来に向け語り合い、楽しく、喜びがあふれる一日とすることを願い、開催しています。

今年度も実行委員会の皆さまとともに準備を進めています。なお、今年度は、会場での開催を予定しています。多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

1. 日 時:2023年 6 月 24日(土)13:30～17:30
2. 会 場:神戸 YMCA 三宮会館
3. プログラム(予定)

1)開 会

2)総 会 会則第 26 条 2 に定められた次の事項を行い、また会員相互の交わりを深めます。

- (1)神戸キリスト教青年会(神戸 YMCA)の全般報告
- (2)この会の活動に関する報告及び決算報告
- (3)この会の活動に関する計画及び予算の報告
- (4)役員(常議員・監事)の選任
- (5)常議員会より提出された議案の審議
- (6)会員の交流及び意見交換
- (7)ユースボランティアの委嘱
- (8)会員の表彰
- (9)その他

なお、議案につきましては、常議員会の審議を経て、総会構成員の皆さまにご案内いたします。

3)みんなで語ろう

グループディスカッションおよびグループ発表

編集後記

5 月はクラブ設立から35周年にあたり、大きな事業と記念例会の開催を無事終わりました。そして休む時間もなく、担当しているブリテン作成に入りました。その間に岡山クラブからZOOM例会の案内が来ました。内容が日本YMCA同盟の横山由利亜さんの「ウクライナ避難者支援活動の報告」でした。興味が有ったのと懐かしい名前が出てきたので参加しました。

今月もブリテン発信が遅れる事になりました。申し訳ありません。



ブリテン 長尾 亘